

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、8～19℃台を示し、やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり505kgの水揚げで前週の3.2倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、アオリイカなどが1日1統当たり107kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり430kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり57kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり331kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり171kgの水揚げで、前週の70%（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ブリが1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイが1日当たり40kgの水揚げで、前週の40%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/10～1/15）の沖合イカ釣は、船凍船が竹島周辺海区で操業。一部が青森県の赤イカ及びスルメイカヘシフト。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田・隠岐周辺・山形沖・青森県沿岸にかけて出漁した。境港基地の小型イカ釣船 1日5隻入港、総計207箱、1航海最高67箱、平均41.4箱、スルメ（20入）207箱。

（漁業情報サービスセンターより）